

能登半島地震 復興支援ニュース

◆支援メンバーの活動や、被災地支援の取り組みの様子を発信しています◆

日本生協連とコープいしかわが 仮設住宅約7500戸へコープ商品寄贈

日本生協連とコープいしかわは、地震の被災者向け仮設住宅にコープ商品を寄贈します。

被災地では仮設住宅の設置が進んでいます。輪島市、珠洲市では完成済みの仮設住宅もあり、一部入居も始まっている中、避難所から入居された被災者が、少しでも安心して新たな生活を始めることが出来るように、くらしの必需品を提供することで、購入して準備する負担を軽減します。

[日本生協連ニュースリリース](#)より



商品セットの内容

- CO・OPだしの素(粉末)≪調味料(アミノ酸)不使用≫144g(6g×24袋)
- CO・OPだし入りみそ750g
- CO・OPマヨネーズ(卵黄タイプ)400g
- CO・OPきび砂糖750g
- CO・OP赤穂の塩1kg
- CO・OP料理酒≪加塩≫1000ml
- CO・OP特選丸大豆しょうゆ1L
- CO・OP一番搾りキャノーラ油1000g
- CO・OPみりん風調味料1000ml

※画像はイメージ。商品詳細は調整中です。

発行：全国生協災害対策本部

編集：日本生協連渉外広報本部

アドレス: pr@jccu.coop

2024年3月1日発行 NO.19

CO-OP



せいきょうから、あしたへ



能登町鶴川地区応急仮設住宅建設現場(2/23撮影)

3月1日(金)より能登町では応急仮設住宅への入居が予定されており、コープいしかわでは、日本生協連の協力を得て避難所から仮設住宅に入居した方へ9品目のコープの調味料が入った商品セットを提供します。

商品の袋詰めは特例子会社ハートコープいしかわで行い、のと北部センターから仮設住宅へのお届けはコープいしかわ職員で行います。

能登町以外にも仮設住宅の建設を進めている自治体へ商品セット寄贈の意向を伝えて地域のお役立ちをはかります。

コープいしかわ部内報「リリヤン」より抜粋・要約(写真も)

のとセンター職員から 共済応援職員へ感謝のメッセージ

CO-OP



輪島市、能登町での配送再開



2月26日週より、のと北部センターから配送する輪島市と能登町の一部で宅配が再開しました。

これまでに再開している穴水町、輪島市門前町の一部での再開利用者と併せて2月4回企画では954名の組合員にカタログを配布し、723名の利用がありました。今週より珠洲市にて、3月11日週からの配送再開に向けて、カタログ配布をすすめています。

コープいしかわ部内報「リリヤン」より抜粋・要約

1月29日（月）から3週間に渡って、お見舞金手続きのために戸別訪問対応をいただいた全国の生協の職員とコープ共済連の職員の皆さまへお礼を込めて、のとセンター職員からの感謝のメッセージを集めた色紙ができあがりました。

このメッセージはコープ共済連を通してご支援いただいた生協へデータで共有いただけます。

コープいしかわ部内報「リリヤン」より抜粋・要約（写真も）

のとセンター配送職員のレポートより

組合員さんごめやま、（取場班の方）

「注文書いたよ〜。生協の注文書いてたら、少いだけ普通の生活に戻れた気がしたわ。ありがとうね。又注文するわ。」と。

仕事を終わり、家に帰るも、子どもが「お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなありがとう〜」と「すごく感謝しました。そんな言葉を言ってくれては、思ってもおろさず、とてもうれしく思いました。今までと同じように早く、お昼ごはん。直ぐから帰ると良いなと思えます。

組合員の声

職員さんの中にも被災された方が大勢いらっしゃると思います。避難所からお仕事に向かわれている方もたくさんおいでになるのでしょうか。それでも毎週配達してくださる皆さんには感謝しかありません。どうかお身体大切にしてください。組合員は皆、応援しています。

能美市の組合員さん

コープいしかわ広報誌「とらいあんぐる」2月号お便りより